

第3回『大井一妻籠』中山道マラニック 木曾路はすべて山の中、夜明け前を体験

十六年七月十一日

フル百回楽走会
593
武藤 翔峰

7月11日、第3回大井宿一妻籠宿マラニックが開催されました。このコースの魅力は中山道最大のハイライト「木曾路は全て山の中」のとおり、「檜、サワラ、ネズコ、アスナロ、コウヤマキ」の、木曾五木に囲まれた土の街道を走ることです。大井宿をスタートし、石畳の「落合宿」、夜明け前「島崎藤村」誕生の地「馬籠宿」、そして民家が往時のまま残されている「妻籠宿」をゴールとする、ほとんど登りが続く約27kmの厳しいコースです。ゴール後は木曾路館の温泉で汗を流し、冷たいビールでのどを潤しました。今回も約50名のマラニックファンが参集、木下さんの案内で楽しい一日を過ごすことができました。木下さん、ありがとうございました。



山本さん、片岡さん、伊藤さん、玉木さん



深谷さん、大竹さん、熊沢さん



篠瀬さん夫妻、小林さん



ビールがおいしい木下さん



生田さん、スイカをありがとう



落合宿の石畳を走る